

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル: Validation of Mother-to-Infant Bonding Scale for infant maltreatment by mothers at one month postpartum: an adjunct study of the Japan Environment and Children's Study.

和文タイトル: '赤ちゃんに対する気持ち質問票'を用いた、母親の乳児へのマルトリートメント(不適切な養育)に対するスクリーニングの有用性

ユニットセンター(UC)等名: 宮城ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: JMA-Journal

2022 年: DOI:10.31662/jmaj.2022-0041

筆頭著者名: 西郡 俊絵

所属 UC 名: 宮城ユニットセンター

目的:

宮城ユニットセンター独自の追加調査として実施した、母親の産後 1 ヶ月の赤ちゃんに対する気持ち質問票の調査を用いて、母親の乳児へのマルトリートメント(不適切な養育)に対するスクリーニングの有用性について検討しました。

方法:

- ① 産後 1 カ月の母親 3,225 人を対象に検討を行いました。
- ② 母親の乳児へのマルトリートメント(不適切な養育)は、以下の項目を検討しました。
 - ・ 赤ちゃんだけを残して出かけることがある。
 - ・ 赤ちゃんが泣いていても放っておくことがある。
 - ・ 赤ちゃんを叩くことがある。
- ③ 赤ちゃんの気持ち質問票は、以下の 3 つにわけて検討しました。
 - ・ '全体' 10 項目の合計点数
 - ・ '情緒的な感情の欠如' に関する 4 項目の合計点数
 - ・ '怒りと拒絶' に関する 4 項目の合計点数
- ④ ROC 曲線と AUC、カットオフ値を解析しました。
- ⑤ 最適なカットオフ値は、ROC 曲線左上隅への最小距離に基づきました。

結果:

「赤ちゃんを叩くことがある」について、赤ちゃんの気持ち質問票のうち「怒りと拒絶」の項目による AUC は 0.831 でした。最適なカットオフ値は、2 点でした(感度:0.625、特異度:0.843)。「赤ちゃんだけを残して出かけることがある」、「赤ちゃんが泣いていても放っておくことがある」については、いずれの項目も AUC が 0.7 未満であり、スクリーニング方法として統計学的には有用性は見出せませんでした。

考察(研究の限界を含める):

赤ちゃんの気持ち質問票は、ボンディング障害;親が乳児に対して愛情がわかず、怒りや敵意を感じる等の心理状態をスクリーニングする方法です。全体の合計点数が 3 点以上の場合はメンタルケア等の介入が望まれ、また産後 1 カ月では 5 点以上ではマルトリートメントの可能性が高いという報告があります。今回、我々は「怒りと拒絶」に関する 4 項目の合計点数が 2 点以上の場合、「赤ちゃんを叩くことがある」つまり「乳児への身体的なマルトリートメント」の可能性が高いことを国際的に初めて示しました。このことは、母親のボンディング障害によるマルトリートメントの予防、さらなる悪化の防止には、赤ちゃんの気持ち質問票の合計点のみならず、「怒りと拒絶」に関する 4 項目を用いて評価する重要性を改めて示しています。研究の限界として、母親の自己申告に基づいた調査であることから、必ずしもマルトリートメントの実態を正確に把握したものではありません。

結論:

産後 1 カ月の母親において、赤ちゃんの気持ち質問票の「怒り&拒絶」に関する 4 項目の合計が 2 点以上の場合、「赤ちゃんを叩くことがある」つまり「乳児への身体的なマルトリートメント」の可能性が高いことがわかりました。